

各関係機関長 殿  
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病虫害防除所長  
(公印省略)

平成30年度農作物病虫害発生予察情報について

平成30年度農作物病虫害発生予報第7号を発表したので送付します。

平成30年度農作物病虫害発生予報第7号

平成30年8月17日  
徳 島 県

I. 果樹  
カンキツ

黒点病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年よりやや多い)で、発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月3半旬の温州みかん巡回調査では、枯枝から黒点病菌が確認された圃場率は50.0%で、枯枝中の $\alpha$ 型孢子数は $1.56\sim 6.25\times 10^4$ 個/gであった(前年同時期は圃場率37.5%、 $\alpha$ 型孢子数 $7.8\times 10^4$ 個/g)。
- (2) 7月3半旬の温州みかん巡回調査では、発生圃場率が100%、果実の発病度が6.8であった(前年同時期は未発生)。
- (3) 高松地方気象台が8月16日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並で、平年と同様に晴れの日が多いと予測されており、やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 枯れ枝を極力除去する。せん除した枝は園外へ持ち出して処分し、病原菌密度の低下に努める。

ミカンハダニ

1) 予報内容

発生量 平年並(前年より多い)で、発生程度は「中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月3半旬の巡回調査では、発生圃場率が66.7%、寄生葉率が7.5%と、平年(59.1%、10.2%)並の発生である。
- (2) 高松地方気象台が8月16日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並で、平年と同様に晴れの日が多いと予測されており、発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には、十分な量の薬液を散布する。
- (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

ナシ

うどんこ病

1) 予報内容

発生量 平年より少なく(前年より少ない)、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 8月3半旬の巡回調査では、発生を認めていない(平年同時期は発生圃場率57.0%, 発病度 1.0)。
- (2) 高松地方気象台が8月16日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並で、平年と同様に晴れの日が多いと予測されており、やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 早期落葉すると樹勢を弱めるので、発生が多い園では収穫後に防除を行う。

ハダニ類

1) 予報内容

発生量 平年より多く(前年より多い), 発生程度は「中～多」

2) 予報の根拠

- (1) 8月3半旬の巡回調査では、発生圃場率が75.0%と、平年(57.0%)に比べてやや高く、寄生葉率も22.6%と平年(7.5%)に比べて高い。
- (2) 高松地方気象台が8月16日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並で、平年と同様に晴れの日が多いと予測されており、発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 発生が多い園では収穫後に防除を行う。
- (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

果樹共通

果樹カメムシ類(主に、ツヤアオカメムシ, チャバネアオカメムシ)(8月17日付けで注意報発令中)

1) 予報内容

発生量 平年より多く(前年より多い), 発生程度は「多」

2) 予報の根拠

- (1) 7月下旬～8月上旬における勝浦町での予察灯調査では、ツヤアオカメムシおよびチャバネアオカメムシは平年に比べて多く、7月第6半旬より増加している。
- (2) 7月下旬～8月上旬における上板町での予察灯調査では、ツヤアオカメムシが平年に比べてやや多く、チャバネアオカメムシは、平年並で推移している。

[ツヤアオカメムシの誘殺数]

月.半旬	勝浦町					上板町				
	2018年	2017年	2016年	2015年	平年	2018年	2017年	2016年	2015年	平年
7.4	51	159	4	83	59	4	22	1	19	9
7.5	65	161	4	73	56	2	29	0	13	7
7.6	277	302	47	43	98	47	44	0	11	9
8.1	773	293	32	17	136	48	9	3	6	5
8.2	725	346	66	20	157	57	15	1	7	7
8.3	—	494	101	8	183	89	68	8	5	13
8.4	—	564	37	18	155	—	60	8	4	13

[チャバネアオカメムシの誘殺数]

月.半旬	勝浦町					上板町				
	2018年	2017年	2016年	2015年	平年	2018年	2017年	2016年	2015年	平年
7.4	18	19	2	251	46	10	19	6	51	66
7.5	34	26	2	231	45	12	34	7	33	81
7.6	106	74	9	396	81	49	97	3	43	45
8.1	109	81	26	259	87	22	19	4	25	22
8.2	277	169	33	87	113	23	20	3	30	16
8.3	—	149	54	59	111	59	72	10	15	29
8.4	—	255	73	40	156	—	79	6	11	24

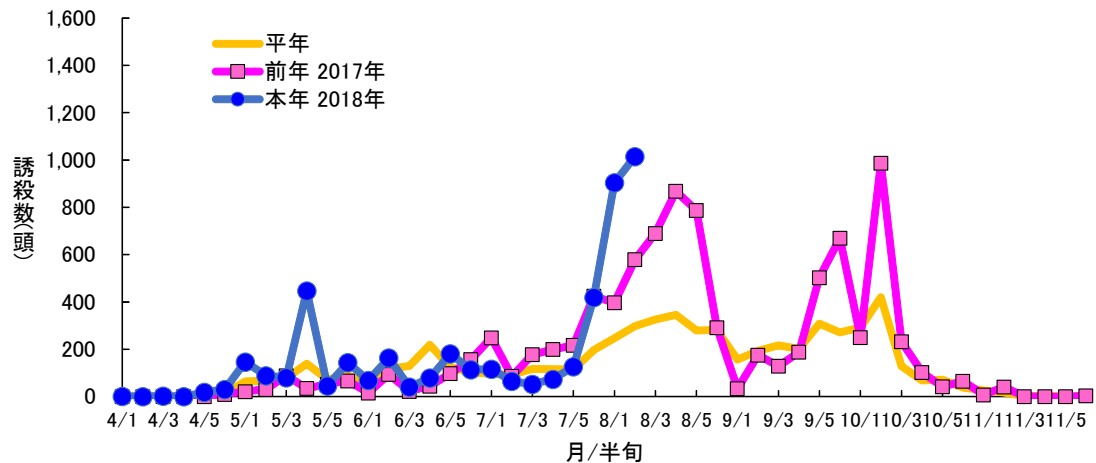


図2 予察灯による果樹カメムシ類(ツヤアオ+チャバネ+クサギ)の誘殺数(勝浦町)

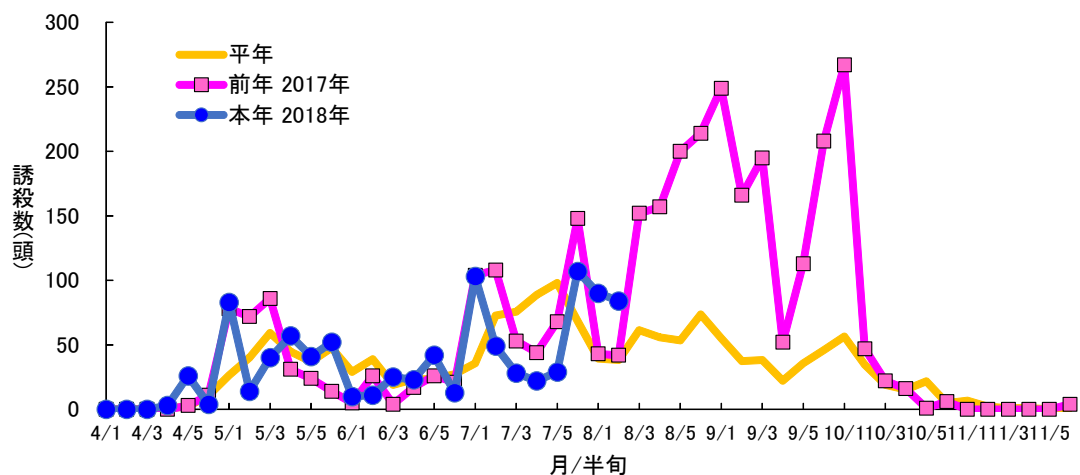


図3 予察灯による果樹カメムシ類(ツヤアオ+チャバネ+クサギ)の誘殺数(上板町)

(3) 高松地方気象台が8月16日に発表した1か月予報では、気温は平年より高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並で、平年と同様に晴れの日が多いと予測されており、発生助長的な気象条件である。

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので、園内を巡回し飛来に注意するとともに、飛来を認めたら早急に防除を行なう。
- (2) 夜行性の虫なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施すると効果が高い。
- (3) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

## II. その他

- 1) 防除にあたっては、圃場をよく観察し、適期を逃さないようにする。
- 2) 薬剤の使用にあたっては必ず使用基準を遵守し、周辺作物等へ飛散しないように注意する。

### 発生量の表示

発生程度：甚>多>中>少>無

発生量：多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所  
URL : <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/t-boujoshou/>

○ 病害虫の発生予察情報、発生状況、防除法等をお知らせしています。

